

平成19年度新座市学校評価システム 自己評価書(中学校)

評価項目	No.	質問項目	評価の分布状況											四段階評価
			0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%	
組織運営	1	学校は、学校教育目標達成に向けて、組織的に取り組んでいる。												3.09
	2	教職員は、PDCAサイクルのもと学級経営や教科経営・分掌経営にあたっている。												3.00
	3	学校は、事故やトラブルに対してのマニュアルを作成・掲示し迅速に対応できる体制を整えている。												3.27
	4	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れるなど、組織的に環境美化に努めている。												3.06
基礎学力の徹底	5	児童生徒は、落ち着いた状況の中で、学習内容を理解しようとしている。												2.80
	6	児童生徒は、「文章を書く力」を高めたという教職員の指導の結果、目的や内容に応じて文章を書くことができ教職員は、学力向上を目指し、児童生徒の実態に基づいて授業改善に努めている。												2.60
	7	学校は、学習ルールを定めて授業を進めるなど、共通理解のもと指導にあたっている。												3.16
	8	学校は、児童生徒が英会話に親しむことができるよう、国際化教育特区としての「英会話の時間」を推進している。												3.04
	9	児童生徒は、友達や教職員・来校者に進んであいさつができる。												3.30
規律ある態度の育成	10	児童生徒は、「です、ます」をつけるなど、場に応じた言葉遣いができる。												2.78
	11	児童生徒は、いじめや意地悪な行為をすることなく、お互いの良さや努力を認め合って学校生活を送っている。												2.35
	12	教職員は、自ら手本となるなど、児童生徒に対して規範意識を高める指導を行っている。												2.54
	13	児童生徒は、体力向上に向け、体育や部活動・外遊びに意欲的に取り組んでいる。												3.17
の健康・体力	14	学校は、栄養バランスのとれた規則正しい食事の大切さを理解させ、食に関する意識を高めようとしている。												2.91
	15	教職員は、PTA活動や地域活動に積極的に協力している。												3.26
との保護者・地域連携	16	学校は、学校だよりやホームページ等で、教育活動の様子や成果・課題等について情報提供している。												3.07
	17	学校は、保護者や地域と連携し不審者対策のパトロールや声かけ運動などを計画を立てて定期的を実施して												3.02
	18													3.31